

加曽利 E 式土器資料集成研究③－北西部地域を対象に－

館 祐樹（千葉市立加曽利貝塚博物館）

1 はじめに

博物館の重点研究課題として平成 30 年度よりスタートした加曽利 E 式土器の資料集成について、貝塚博物館紀要第 45 号の中で大まかな指針と流れについて掲載した（佐藤 2019）。そこでも述べられていた通り、本研究課題は「千葉県を中心とした関東地方の縄文時代中期後半の研究」と、「土器編年研究上の課題を解説するための基礎資料とする」ことを目的に掲げている。一昨年度は千葉市内、昨年度は印旛地域を絞って加曽利 E 式土器出土遺跡の集成、博物館での企画展示及び研究講座を開催し、地域ごとの特徴の比較を行ってきた。

今年度は千葉県北西部地域を対象として、北西部地域から出土した加曽利 E 式土器を大きく 4 つ時期に分け、その変遷を追って展示を行った。さらに下総考古学研究会にご協力頂き、中峠式土器の再検討に関する展示及び講座を実現することができた。

本論では、北西部地域を対象に加曽利 E 式土器出土遺跡の集成を行った。また、奥東京湾を挟んで接するとともに、加曽利 E 式土器の編年研究が盛んに行われてきた西関東の資料との対比もしながら型式細分の基準について触れておきたい。

2 北西部地域について

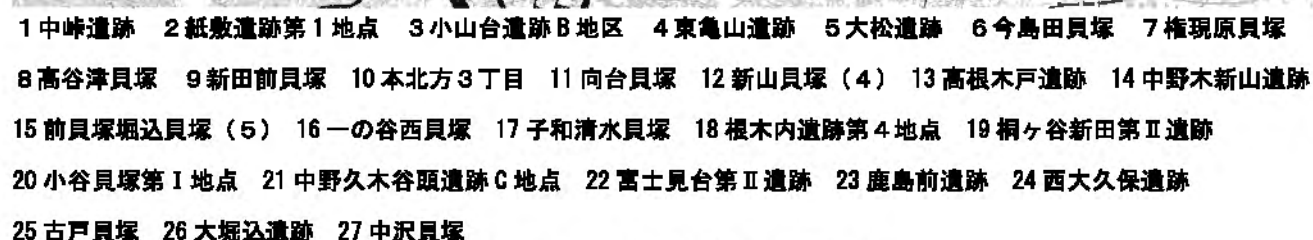
ここでのいう北西部地域とは、現在の行政区分でいう「市川市・船橋市・松戸市・野田市・習志野市・柏市・流山市・八千代市・我孫子市・鎌ヶ谷市・浦安市」の 11 市である。北西部地域の立地は、下総台地の北西部に位置し、標高は 20 ～ 30 m 前後で比較的平坦で、台地の起伏が緩やかなことが特徴である。

縄文時代の北西部地域は、房総半島と北関東・西関東を結ぶ要所であるとともに、西に「古東京湾」、東に現在の霞ヶ浦から印旛沼・手賀沼にかけて一つに繋がっており、鹿島・銚子方向に大きく開口した内海、「古鬼怒湾」が広がっていた。またこの 2 つの海へと注ぐ大小さまざまな河川に隣接する台地は、河川を利用した交通の利便性から多くの集落がつけられたと考えられる。

東京湾側では特に国分川・大柏川・海老川の周辺に集落が集中しており、松戸市子と清水貝塚、鎌ヶ谷市中沢貝塚、市川市向台貝塚、船橋市高根木戸遺跡など大規模集落が点在している。また、流山市中野久



第 1 図 北西部地域と千葉市との位置関係



第2圖 企面厝展示資料出土遺跡位置圖

木谷頭遺跡や柏市小山台遺跡が立地する地域は、古東京湾側、古鬼怒湾側の双方から河川が入り組んでおり、この地域の周辺にも大規模集落が見つかっている。

3 型式の細分について

型式細分については 45 号で型式変化の段階を表す指標となる基準を示している（佐藤 2019）。今回は、北西部地域の加曽利 E 式資料収集を通して、基準に補足される点や課題などを型式ごとに挙げておきたい。

勝坂・阿玉台末／加曾利 E I 初

- ・突起・把手を有するものが多い。
- ・口縁部文様帯の隆帯上に刻みや縄文が施される。
- ・口縁部文様帯の集合沈線は隆帯貼付後に充填される。
- ・胸部に沈線による懸垂文やクランク文が施されるものがある。

加曾利 E I 式

- ・地文について
 - ・地文に縄文が施されるものが多いが、撚糸文を施すものもみられる。撚糸文は当該期に西関東で多く用いられており、影響を受けているものと考えられる。極めて少ないが、磨消縄文の段階に撚糸文が施されるものもある。
 - ・口縁部文様帯の地文に集合沈線が施されるものがある。当該期に口縁部に集合沈線を施すものは西関東では少ないようである。
- ・口縁部文様について
 - ・突起・把手を有するものが多い。
 - ・クランク文や隆帯による波状の貼付は西関東よりも多い。
 - ・渦巻きつなぎ弧状に口縁部が区画されるものは西関東よりもやや少ない。
- ・頸部無文帯について
 - ・頸部無文帯を有するものは西関東よりも少ない。
- ・胴部文様について
 - ・隆帯による懸垂文が施されるものは少ない。
 - ・懸垂文・蛇行文が施されず地文のみのものが西関東よりもやや多い。

加曾利 E II 式（磨消縄文が施される。連弧文・曾利 II・大木式の影響を受けた土器が伴う）

- ・波状口縁を呈するものがみられる。
- ・口縁部下端の区画に隆帯が用いられなくなる。
- ・大木 8b 式土器の影響を受けた意匠充填系土器には頸部無文帯を有するものがある。
- ・連弧文土器の地文に縄文を施すものがみられる。

加曾利 E III 式（横位連携弧線文土器・意匠充填系土器を伴う）

- ・口縁部文様帯の簡略化が進む。
- ・意匠充填系土器は西関東よりも多く見られる。
- ・意匠充填系土器の隆帯は 2 本単位のもの 1 本単位のものがある。
- ・横位連携弧線文土器で口唇部下に沈線や列点を全周させるものとさせないものがある。

加曾利 E IV 式以降（沈線や微隆起線による施文が見られる）

- ・口唇部下の沈線は見られない。
- ・称名寺式土器が伴う段階のものがあり、共伴関係の精査が必要である。

地文縄文の施文方向について

加曾利 E 式土器の特徴として、地文の施文方向が挙げられる。口縁部文様帯には横方向に縄文を施し、胴部文様帯には縦方向に施文する特徴が E I 式の新しいころからみられる。これは E II 式、また口縁部文様帯が簡略化した E III 式以降においても口縁部近い部分に横方向に施されるものが多い。

4 おわりに

北西部地域は、房総半島と北関東・西関東を結ぶ要所であり、また東西に広がる海に接することから、様々な地域の情報が行き交い、またそれを受容し、変容させていたと考えられる。

今回、基準で挙げた項目については漠然とした印象に過ぎず、具体性を欠くものである。今後も資料集を続け、量的な把握に努めるとともに、基準に挙げた項目について検討を進め、基準となる資料を図示していきたい。

参考文献

加納 実 1994 「加曽利 E III・IV 式土器の系統分析 - 配列・編年の前提作業として -」『貝塚博物館紀要』第 21 号 千葉市立加曽利貝塚博物館

黒尾和久 1995 「縄文時代中期集落遺跡の基礎的検討 (I) - 時間軸の設定とその考え方について -」『論集 宇津木台』第 1 集 宇津木台地区考古学研究会

佐藤 洋 2019 「加曽利 E 式土器資料集成研究① (千葉市内編)」『貝塚博物館紀要』第 45 号 千葉市立加曽利貝塚博物館

縄文時代研究プロジェクトチーム 2002 「神奈川における縄文文化の変遷 VI - 中期後葉期 加曽利 E 式土器文化期の様相 その 2 土器編年案 -」『研究紀要 7 かながわの考古学』財団法人かながわ考古学財団

谷井彪ほか 1982 「縄文中期土器群の再編」『研究紀要』財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団

第 1 表 加曽利 E 式土器出土遺跡一覧 (市川市)

No.	遺 跡 名	町 名	時 期					住居跡の有無	調査年次	調査主体	公表資料	
			E I	E II	E III	E IV	～ 称				報告書名・書名	
1	姥山貝塚	柏井	○	○	○			○	1948-49	団	姥山貝塚	
2	姥山西遺跡第 1 地点	柏井町			○	○		×	1981	市	市川東部遺跡群発掘調査報告 昭和 56 年度	
3	株木 B 遺跡第 2 地点	柏井町	○					○	1982	市	市川東部遺跡群発掘調査報告 昭和 57 年度	
4	曾谷貝塚遺跡第 7 地点	曾谷			○	○	○	○	1983	市	埋蔵文化財発掘調査報告	
5	曾谷貝塚第 17 地点	曾谷				○	○	○	1985	市	市川東部遺跡群発掘調査報告 昭和 60 年度	
6	曾谷貝塚第 18 地点	曾谷				○	○	○	1986	市	市川東部遺跡群発掘調査報告 昭和 61 年度	
7	八反割 A 遺跡	北国分町				○	○	○	1985	市	八反割 A 遺跡発掘調査報告	
8	堀之内遺跡	北国分町		○	○	○	○	○	1985	市	堀之内	
9	曾谷 1 丁目 194 番地遺跡	曾谷		○	○			○	1986-87	市	市川東部遺跡群発掘調査報告 昭和 61 年度	
10	曾谷 1 丁目 259 番地遺跡	曾谷			○			○	1987	市	市川東部遺跡群発掘調査報告 昭和 62 年度	
11	向台東遺跡第 8 地点	曾谷		○				○	1988	市	市川東部遺跡群発掘調査報告 昭和 63 年度	
12	向台遺跡	曾谷	○	○	○			○	1967	学	向台貝塚資料図譜	
13	向台遺跡第 2 地点	曾谷	○	○				○	1993	市	市川市内遺跡発掘調査報告 平成 5 年度	

第2表 加曽利 E 式土器出土遺跡一覧（船橋市）

No.	遺 跡 名	町 名	時 期					住居跡 の有無	調 査 年 次	調 査 主 体	公表資料
			E I	E II	E III	E IV	～ 称				報告書名・書名
1	中野木台遺跡	中野木		○	○	○		○	1981	市	中野木台遺跡
2	中野木台遺跡	中野木				○		○	1995	市	千葉県船橋市 中野木台遺跡群（4）
3	中野木台遺跡（9）	中野木		○	○			○	1999	市	平成11年度 船橋市内遺跡発掘調査報告書
4	中野木台遺跡（10）	中野木			○	○		○	1999	市	平成11年度 船橋市内遺跡発掘調査報告書
5	中野木台遺跡	中野木台			○	○		○	2001	市	平成12年度 船橋市市費単独事業遺跡発掘調査報告書
6	中野木台遺跡	中野木		○		○	○	×	2001	市	平成13年度 船橋市市費単独事業遺跡発掘調査報告書
7	中野木台遺跡（16）	中野木			○	○		×	2008	市	平成20年度 船橋市内遺跡発掘調査報告書
8	中野木台遺跡	中野木		○	○	○		○	2014	市	中野木台遺跡（18-2）
9	中野木台遺跡	中野木		○	○			○	2016	市	中野木台遺跡（19）
10	印内台遺跡群	二和東		○				○	1997	市	千葉県船橋市 印内台遺跡群（20）
11	海老ヶ作北遺跡	大穴南	○	○	○	○		○	2006	市	海老ヶ作北遺跡（3）
12	海老ヶ作北遺跡	大穴南	○	○	○			○	2015	市	海老ヶ作北遺跡（5）
13	ついじ台貝塚	高根町	○	○	○			○	2004	市	ついじ台貝塚（1・2・3）
14	ついじ台貝塚	高根町	○	○	○			○	2016	市	ついじ台貝塚（4・5）
15	西ヶ堀込遺跡	田喜野井			○	○	○	○	2016	市	西ヶ堀込遺跡（2）
16	上ホシ遺跡	飯山満	○		○	○	○	○	1989	市	上ホシ遺跡（1）
17	上ホシ遺跡	飯山満		○	○			○	2003	市	平成15年度 船橋市市費単独事業遺跡発掘調査報告書
18	上山台遺跡	前貝塚		○				○	1993	市	平成5年度 船橋市市内遺跡群発掘調査報告書
19	薬園台南貝塚	薬園台		○		○	○	×	1993	市	平成5年度 船橋市市内遺跡群発掘調査報告書
20	上竹遺跡	坪井			○			○	2012	市	平成24年度 船橋市内遺跡発掘調査報告書
21	宮本台遺跡	東船橋				○	○	○	1995	市	宮本台遺跡群 第3次
22	前貝塚堀込貝塚	行田		○		○		○	1992	市	前貝塚堀込貝塚 第2次
23	前貝塚堀込貝塚	行田			○	○		○	2001	市	平成13年度 船橋市内遺跡発掘調査報告書
24	前貝塚堀込貝塚	行田				○	○	○	2015	市	前貝塚堀込貝塚（5）
25	前貝塚堀込貝塚	行田		○	○	○		○	2016	市	前貝塚堀込貝塚（8）
26	沢之台遺跡	七林		○	○			○	1979	団	沢之台遺跡発掘調査報告書
27	古作貝塚	古作			○	○	○	○	1981-82	団	古作貝塚
28	新山東遺跡	前原西		○	○	○	○	○	1998	県	船橋市新山東遺跡
29	新山東遺跡	前原西		○	○	○	○	○	2000	県	船橋市新山東遺跡Ⅱ
30	新山東遺跡	前原西			○			○	2002	市	平成14年度 船橋市市費単独事業遺跡発掘調査報告書
31	高根木戸	智志野台	○	○	○			○	1967	団	高根木戸
32	海老ヶ作貝塚	大穴南	○	○				○	1969-70	団	海老ヶ作貝塚
33	海老ヶ作貝塚	大穴南		○	○	○		○	1999	市	平成8年度～平成11年度 船橋市発掘調査報告書
34	中野木新山遺跡	中野木		○	○	○		○	1975	団	中野木新山遺跡
35	新山貝塚	中野木			○	○	○	○	2017-18	市	新山貝塚（4）

2021 年 3 月

第 3 表 加普利 E 式土器出土遺跡一覧 (松戸市)

No.	遺 跡 名	町名	時 期					住居跡 の有無	調査 年次	調査 主体	公表資料
			E I	E II	E III	E IV	～称				報告書名・書名
1	千駄堀寒風遺跡	千駄堀寒風	○	○				○	1963	学	松戸市千駄堀寒風遺跡
2	千駄堀寒風遺跡	千駄堀寒風	○	○	○			×	1965	学	寒風遺跡調査報告書
3	貝の花貝塚	八ヶ崎	○	○	○			○	1964-66	市	貝の花貝塚
4	若芝遺跡	小金原	○	○	○	○		○	1981	市	若芝遺跡
5	坂之台遺跡	紙敷			○	○		○	1982	市	坂之台遺跡・東平賀遺跡第3次調査
6	東平賀遺跡	東平賀			○			○	1982	市	坂之台遺跡・東平賀遺跡第3次調査
7	東平賀遺跡	東平賀	○	○				○	1985-86	市	幸田貝塚 (第11次調査)・東平賀貝塚 (第4次調査)
8	東平賀遺跡	東平賀	○					○	1991	市	東平賀貝塚 (8次)
9	東平賀遺跡第16地点	東平賀	○	○				○	2007	市	平成19年度 松戸市内遺跡発掘調査報告書
10	東平賀遺跡第17地点	東平賀		○				×	2009	市	平成21年度 松戸市内遺跡発掘調査報告書
11	東平賀遺跡第19地点	殿平賀	○	○				○	2011	市	東平賀遺跡 第19地点発掘調査報告書
12	東平賀遺跡第22地点	東平賀	○					○	2014	市	東平賀遺跡 第22地点発掘調査報告書
13	中峠遺跡第5次調査	紙敷	○					○	1966	団	下総考古学19
14	中峠遺跡第7次調査	紙敷	○	○				○	1969	団	下総考古学24
15	中峠遺跡第8次調査	紙敷	○	○				○	1972	団	下総考古学25
16	中峠遺跡	紙敷	○					○	1983	市	中峠遺跡・根本内遺跡
17	秋山向山遺跡	秋山	○	○	○			○	1989	市	平成元年度 松戸市内遺跡群発掘調査概報
18	根本内遺跡	根本内	○	○	○			×	1991	市	平成3年度 松戸市内遺跡群発掘調査概報
19	根本内遺跡第4地点	根本内	○	○	○			○	1994	市	根本内遺跡 第4地点発掘調査報告書
20	根本内遺跡	根本内	○	○	○			○	1995	市	平成7年度 松戸市内遺跡発掘調査報告
21	根本内遺跡	根本内		○	○			○	1996	市	平成8年度 松戸市内遺跡発掘調査報告書
22	根本内遺跡第8地点	根本内	○	○	○			○	1999	市	根本内遺跡 第8地点発掘調査報告書
23	吾妻遺跡	八ヶ崎			○	○		×	1993	市	平成5年度 市内遺跡発掘調査概報
24	陣ヶ前遺跡	松戸				○	○	○	1988	市	陣ヶ前遺跡 第2次調査報告書
25	陣ヶ前遺跡	松戸			○	○	○	×	1990	市	陣ヶ前遺跡
26	陣ヶ前遺跡第7地点	松戸					○	×	2010	民	陣ヶ前遺跡 第7地点発掘調査報告書
27	東平賀貝塚	東平賀		○	○			×	1994	市	東平賀貝塚 (10次)
28	溜ノ上遺跡	幸谷	○					○	1982	市	溜ノ上遺跡
29	木戸前Ⅱ遺跡	高塚新田				○	○	×	1994	市	木戸前Ⅱ遺跡
30	八ヶ崎遺跡第5地点	八ヶ崎	○					○	1995	市	八ヶ崎遺跡 第5地点発掘調査報告書
31	上本郷遺跡	上本郷	○	○				×	1996	市	平成8年度 松戸市内遺跡発掘調査報告書
32	上本郷遺跡第12地点	上本郷	○	○	○	○		○	2001	市	平成13年度 松戸市内遺跡発掘調査報告書
33	上本郷遺跡第17地点	上本郷	○	○	○			×	2015	市	平成27年度 松戸市内遺跡発掘調査報告書
34	東出山遺跡	紙敷			○	○		○	1990	市	東出山遺跡
35	坂之台遺跡	紙敷			○	○	○	○	1992	市	松戸市紙敷地区遺跡群発掘調査報告書
36	中内遺跡	紙敷	○		○		○	○	1988-89	市	松戸市紙敷地区遺跡群発掘調査報告書
37	金桶台遺跡	紙敷					○	○	1973	県	松戸市金桶台遺跡
38	根之神台遺跡・中内遺跡	紙敷		○	○			○	1985-86	県	松戸市 北総開発鉄道埋蔵文化財調査報告書Ⅲ
39	通源寺遺跡	和名ヶ谷		○				○	1998	市	平成10年度 松戸市内遺跡発掘調査報告書

No.	遺 跡 名	町名	時 期					住居跡の有無	調査年次	調査主体	公表資料	
			E I	E II	E III	E IV	～称				報告書名・書名	
40	八ヶ崎貝の花遺跡	八ヶ崎			○			×	1999	市	平成11年度	松戸市内遺跡発掘調査報告書
41	八ヶ崎遺跡	八ヶ崎	○	○				○	1992-93	市	八ヶ崎遺跡	
42	八ヶ崎遺跡第18地点	八ヶ崎	○	○				○	2009	市	平成20年度	松戸市内遺跡発掘調査報告書
43	八ヶ崎遺跡第19地点	八ヶ崎	○	○	○			○	2014	民	八ヶ崎遺跡	第19地点発掘調査報告書
44	八ヶ崎遺跡第20地点	八ヶ崎	○					○	2015	市	平成27年度	松戸市内遺跡発掘調査報告書
45	八ヶ崎遺跡第22地点	八ヶ崎	○	○	○			×	2018	市	平成29年度	松戸市内遺跡発掘調査報告書
46	紙敷遺跡	紙敷	○	○	○			×	1999-2000	市	紙敷遺跡	
47	紙敷遺跡第1地点	紙敷	○	○				○	2008-09	市	紙敷遺跡	第1地点
48	八ヶ崎貝の花遺跡	小金原		○	○			×	2003	市	平成14年度	松戸市内遺跡発掘調査報告書
49	彦八山遺跡第4地点	大橋			○	○		×	1998-99	市	彦八山遺跡	第4地点発掘調査報告書
50	和名ヶ谷溜台遺跡第1地点	和名ヶ谷				○	○	○	1991-93	市	和名ヶ谷溜台遺跡	第1地点発掘調査報告書
51	下水遺跡第1地点	和名ヶ谷			○	○	○	○	1981-82	市	下水遺跡	第1地点発掘調査報告書
52	下水遺跡第6・7地点	和名ヶ谷		○				○	2003-04	市	下水遺跡	第6・7地点発掘調査報告書
53	下水遺跡第8地点	松戸新田			○	○	○	○	2005	市	下水遺跡	第8地点発掘調査報告書
54	下水遺跡第13地点	松戸新田			○	○	○	○	2015-16	市	下水遺跡	第13地点発掘調査報告書
55	秋山向山遺跡第7地点	秋山	○	○	○			○	2015	民	秋山向山遺跡	第7地点発掘調査報告書
56	殿平賀向掘遺跡第1・2地点	殿平賀		○				○	2016	民	殿平賀向掘遺跡	第1-2地点発掘調査報告書
57	子と清水貝塚	日暮	○	○	○			○	1972-75	市	子と清水貝塚	遺構図版編

第4表 加曽利 E 式土器出土遺跡一覧（野田市）

No.	遺 跡 名	町名	時 期					住居跡の有無	調査年次	調査主体	公表資料	
			E I	E II	E III	E IV	～称				報告書名・書名	
1	東亀山遺跡	山崎	○	○				○	2011	民	東亀山遺跡	第3次発掘調査
2	山崎貝塚	山崎貝塚		○				×	2007	市	山崎貝塚周辺・庄九ヶ谷貝塚・武者土貝塚・桜台	

第5表 加曽利 E 式土器出土遺跡一覧（柏市）

No.	遺 跡 名	町名	時 期					住居跡の有無	調査年次	調査主体	公表資料	
			E I	E II	E III	E IV	～称				報告書名・書名	
1	埋田遺跡	手賀		○	○			○	1979-80	町	埋田遺跡	
2	水砂遺跡	大青田	○	○	○			○	1977-78	県	常磐自動車道埋蔵文化財調査報告書 I	
3	聖人塚遺跡	大青田	○	○				○	1979-80	県	常磐自動車道埋蔵文化財調査報告書 IV	
4	中山新田 I 遺跡	大青田		○	○	○		○	1979-80	県	常磐自動車道埋蔵文化財調査報告書 IV	
5	戸張一番割遺跡	戸張番匠作台					○	○	1979-80	市	戸張一番割遺跡	
6	今泉遺跡	篠籠田			○			×	1987	市	昭和62年度	市内遺跡群発掘調査報告書
7	田中小遺跡	大室		○				×	1988	市	昭和63年度	市内遺跡群発掘調査報告書
8	片山古墳群内 D 地点遺跡	片山			○	○		×	1986	県	片山古墳群内 D 地点遺跡	
9	荒久遺跡	片山					○	○	1989-90	町	平成元年度	沼南町内遺跡群発掘調査報告書
10	庚申前遺跡	中新宿	○					○	1988	市	庚申前遺跡（第3次）	
11	笹原遺跡	豊四季		○				×	1983	市	笹原遺跡（第6次）	
12	笹原遺跡	豊四季		○	○			○	1988	市	笹原遺跡（第2次）	
13	笹原（Ⅱ）遺跡	豊四季	○	○				○	2000	市	平成11年度	市内遺跡発掘調査報告書

2021 年 3 月

No.	遺 跡 名	町名	時 期					住居跡 の有無	調査 年次	調査 主体	公表資料	
			E I	E II	E III	E IV	～ 称				報告書名・書名	
14	富勢中遺跡第3地点	宿連寺		○	○			○	2004	市	富勢中遺跡（第3地点）	
15	下原遺跡	宿連寺			○			○	1983	市	中島遺跡 上根郷遺跡 上前留遺跡 殿内野馬土手 下原遺跡 根切遺跡 中島遺跡（第2次） 中島遺跡（第3次） 猪ノ尻遺跡	
16	追花遺跡第4地点	大井	○	○				○	2005	市	追花遺跡（第4地点）	
17	前田遺跡	箕輪			○	○	○	○	2002-03	市	湘南台遺跡群	
18	榎方遺跡	箕輪	○	○	○	○	○	○	2002-04	市	湘南台遺跡群	
19	宮ノ内遺跡	布施	○	○	○			○	1978-88	市	県道守谷・流山線	
20	原遺跡	花野井		○	○			○	2007-08	市	原遺跡（第1次・2次）	
21	出山遺跡	大青田		○				○	2009	市	平成20年度 柏市市内遺跡発掘調査報告書	
22	出山遺跡	大青田	○	○	○	○		○	2017-18	市	柏市柏イーター西土地区画整理事業埋蔵文化財発掘調査報告書1	
23	追花遺跡・大井追花城跡	大井	○					○	1981	市	追花遺跡・大井追花城跡（第1次） 浅間山遺跡（第3次） 浅間山遺跡（第5次）	
24	原畑遺跡	大室	○					○	2013	市	原畑遺跡（第26次）	
25	上根郷遺跡	柏				○		×	2013	市	上根郷遺跡（第11次）	
26	寺下前遺跡	大室			○	○		×	2016	市	平成28年度 柏市市内遺跡発掘調査報告書	
27	林台遺跡	逆井		○	○	○		○	1984-88	市	林台遺跡	
28	林台遺跡	藤心		○	○			○	1986	市	林台遺跡	
29	大松遺跡	小青田	○		○			○	2001-02	県	柏北部東地区埋蔵文化財発掘調査報告書4	
30	小山台遺跡B区	大室	○	○	○	○	○	○	1990-2016	県	柏北部東地区埋蔵文化財発掘調査報告書15	

第 6 表 加曽利 E 式土器出土遺跡一覧（流山市）

No.	遺 跡 名	町名	時 期					住居跡 の有無	調査 年次	調査 主体	公表資料	
			E I	E II	E III	E IV	～ 称				報告書名・書名	
1	中野久木谷頭遺跡B地点	中野久木	○	○	○			○	1986	市	千葉県流山市 中野久木谷頭遺跡 B地点	
2	中野久木谷頭遺跡B地点	中野久木	○	○	○			○	1987	市	昭和62年度 流山市市内遺跡群発掘調査報告	
3	中野久木谷頭遺跡C地点	中野久木	○	○	○			○	1995-96	市	中野久木谷頭遺跡C地点	
4	富士見台第Ⅱ遺跡	富士見		○	○	○		○	1981	市	千葉県流山市 富士見台第Ⅱ遺跡	
5	富士見台第Ⅱ遺跡B地点	富士見			○	○		○	1982	市	千葉県流山市 富士見台第Ⅱ遺跡B地点発掘調査報告書	
6	名都借第Ⅱ遺跡	名都借	○					×	1985	市	名都借第Ⅱ遺跡発掘調査概報 高圧線鉄塔（下葛線）建替え工事に伴う調査	
7	桐ヶ谷新田第Ⅱ遺跡	西初石			○			○	1998	市	桐ヶ谷新田第Ⅱ遺跡発掘調査報告書	
8	小谷貝塚D、E、F地点	江戸川台	○	○	○			○	2004	市	平成16年度 流山市市内遺跡発掘調査報告書	
9	小谷貝塚G地点	江戸川台		○	○	○		×	2011	市	平成23年度 流山市市内遺跡発掘調査報告書	
10	小谷貝塚I地点	江戸川台西	○	○	○			×	2014	市	平成26、27年度 流山市市内遺跡発掘調査報告書	
11	小谷貝塚K地点	江戸川台西	○		○			○	2016	市	平成28年度 流山市市内遺跡発掘調査報告書	
12	前ヶ崎川村台遺跡D、E、F地点	前ヶ崎		○	○			○	2004	市	平成16年度 流山市市内遺跡発掘調査報告書	
13	向下遺跡	野々下		○		○		○	2008	市	流山市 向下遺跡 野々下元木戸遺跡（第4次調査）	
14	若葉台遺跡	大字谷入谷津		○				○	1981	県	常磐自動車道埋蔵文化財調査報告書Ⅶ 谷・上貝塚・若葉台・塚（1）・（2）・馬土手（1）・（2）・（3）	
15	市野谷宮尻遺跡	西初石		○				○	2000-02	県	流山新市街地区埋蔵文化財調査報告書1 流山市市野谷宮尻遺跡	
16	市野谷入台遺跡	市野谷			○			×	2000-05	県	流山新市街地区埋蔵文化財調査報告書3 流山市市野谷入台遺跡	
17	市野谷向山遺跡上層	市野谷			○	○		○	1998-2010	県	流山新市街地区埋蔵文化財調査報告書7 市野谷向山遺跡（上層）他	
18	市野谷向山遺跡	市野谷				○	○	○	2017-18	県	流山新市街地区埋蔵文化財調査報告書11 市野谷向山遺跡 他	
19	野々下元木戸遺跡	野々下	○	○		○	○	○	2008	市	流山市 野々下元木戸遺跡（第2次調査）	

第 7 表 加曽利 E 式土器出土遺跡一覧（八千代市）

No.	遺 跡 名	町 名	時 期					住居跡の有無	調査年次	調査主体	公表資料
			E I	E II	E III	E IV	～ 称				報告書名・書名
1	桑納前畑遺跡	桑納				○	○	×	1977	市	桑納前畑遺跡 b 地点発掘調査報告書
2	桑納前畑遺跡 b 地点	桑納	○			○	○	○	2009	市	桑納前畑遺跡 b 地点発掘調査報告書
3	真木野向山遺跡	島田台			○	○		○	1985-86	市	真木野向山遺跡
4	栗谷遺跡	保品			○	○		○	1988-94	市	栗谷遺跡
5	上谷遺跡	保品				○		×	1992 1995-99	市	上谷遺跡
6	境堀遺跡	神野			○	○	○	○	1992-98	市	境堀遺跡
7	長兵衛町遺跡	大和田新田		○	○			○	1997	市	長兵衛町南遺跡発掘調査報告書
8	西芝山南遺跡	大和田新田		○				×	1997-99	県	西八千代北部地区埋蔵文化財調査報告書
9	八王子台遺跡	大和田		○	○			×	2000-01	市	八王子台遺跡発掘調査報告書
10	道地遺跡 g・h・i 地点	平戸			○	○		×	2011	市	市内遺跡発掘調査報告書 平成24年度
11	平作遺跡 a 地点	大和田新田	○	○		○	○	○	2013	市	市内遺跡発掘調査報告書 平成26年度
12	平戸台遺跡 c 地点	大和田					○	×	2016	市	平戸台遺跡 C 地点
13	道地遺跡	平戸	○	○	○	○		×	1994-97	県	船橋印西線埋蔵文化財調査報告書2
14	八王子台遺跡	大和田新田		○	○			○	1997-2001 2005-11	県	西八千代北部地区埋蔵文化財調査報告書3

第 8 表 加曽利 E 式土器出土遺跡一覧（我孫子市）

No.	遺 跡 名	町 名	時 期					住居跡の有無	調査年次	調査主体	公表資料
			E I	E II	E III	E IV	～ 称				報告書名・書名
1	鹿島前遺跡	中峠				○	○	○	1978	市	鹿島前遺跡 第1次発掘調査概報
2	鹿島前遺跡	中峠			○			○	1978-79	市	鹿島前遺跡 第2次発掘調査概報
3	鹿島前遺跡	中峠					○	×	1982	市	鹿島前遺跡 第4次発掘調査概報
4	鹿島前遺跡	中峠			○	○	○	○	1984	市	我孫子市埋蔵文化財報告 第 4 集
5	並木遺跡	並木				○	○	○	2011	市	並木遺跡 第1次発掘調査報告書
6	並塚東遺跡	我孫子	○	○	○			○	2012	市	並塚東遺跡発掘調査報告書
7	古戸貝塚	古戸			○			×	1999	市	平成11年度 市内遺跡発掘調査報告書
8	遠坪遺跡	並木			○	○	○	○	1982 84 94-95		遠坪遺跡 第1・2・3次発掘調査報告書

第 9 表 加曽利 E 式土器出土遺跡一覧（鎌ヶ谷市）

No.	遺 跡 名	町 名	時 期					住居跡の有無	調査年次	調査主体	公表資料
			E I	E II	E III	E IV	～ 称				報告書名・書名
1	新山No.2遺跡	東中沢			○	○		○	2006	市	平成18年度 鎌ヶ谷市内遺跡発掘調査概報
2	大堀込遺跡	中沢	○	○				○	1980-81 85 2000-2001	市	大堀込遺跡 第1・3・4・5次発掘調査報告書
3	根郷貝塚	中沢	○	○	○			○	1985-86	市	千葉県鎌ヶ谷市根郷貝塚発掘調査報告書
4	根郷貝塚	中沢根郷	○	○				×	2006	市	根郷貝塚 第4次発掘調査報告書